

【広島市の消費者物価指数】平成 22 年=100

1 平成 28 年 2 月の動向

- (1) 総合指数(103.5)は前月比で同水準。
前年同月比は 32 か月連続の上昇。

(2) 生鮮食品を除く総合指数(102.7)は前月比で 4 か月連続の下落。
前年同月比は 32 か月連続の上昇。

(3) 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数(100.6)は前月比で 4 か月連続の下落。
前年同月比は 29 か月連続の上昇。

図 1 総合指数の推移

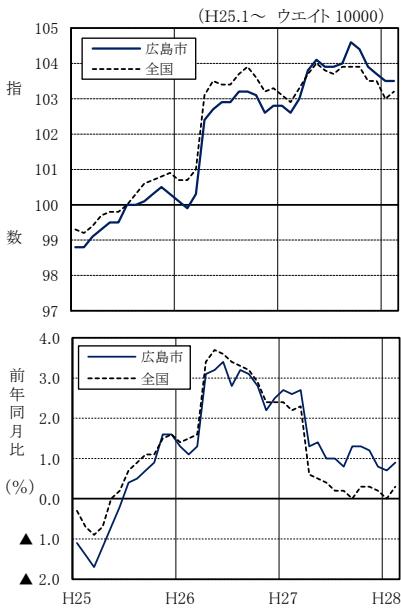


図 2 生鮮食品を除く総合指数の推移

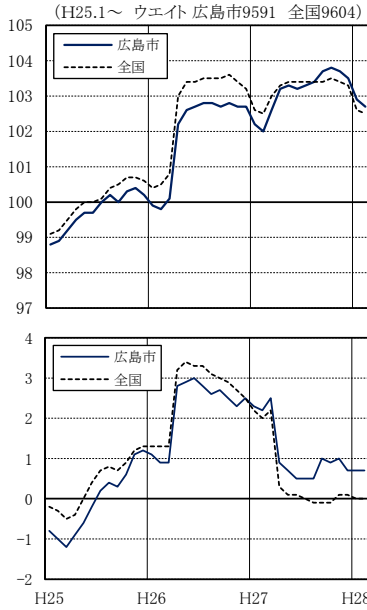
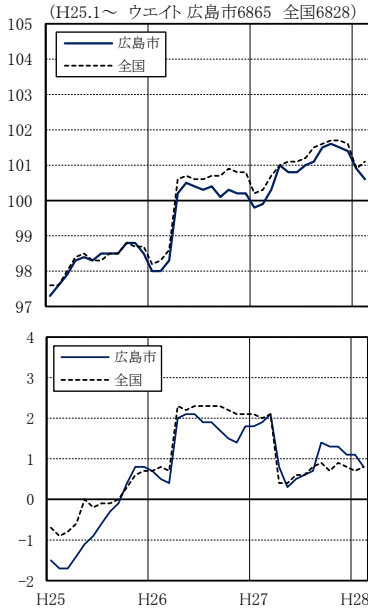


図 3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の推移



2 総合指数, 生鮮食品を除く総合指数, 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	103.5	0.0	0.9
生 鮮 食 品 を 除 く 総 合 指 数	102.7	▲0.2	0.7
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数	100.6	▲0.2	0.8

3 前月からの動き

～食料は上昇, 家具・家事用品は下落。～

(1) 10 大費目指数の前月比及び寄与度

	総 合	食 料	住 居	光熱・ 水 道	家 具・ 家事用品	被服及び 履 物	保健医療	交通・ 通 信	教 育	教養娯楽	諸雑費
指 数	103.5	111.1	99.0	106.7	91.5	105.4	100.7	100.4	99.5	98.5	109.2
前月比 (%)	0.0	0.8	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 4.5	1.0	▲ 0.1	▲ 0.2	0.0	0.1	▲ 0.1
寄与度	0.0	0.21	▲ 0.02	▲ 0.04	▲ 0.17	0.04	0.00	▲ 0.03	0.00	0.01	0.00

(注) 寄与度: 物価全体(総合)の上昇(下落)に, 各費目がどれだけ影響したかを示したもの。
本来, 寄与度の合計は, 総合指数の前(年同)月に対する変化率となるが, 四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数の前月比に寄与した主な内訳

上 昇		下 落	
中分類（主な品目）	寄与度	中分類（主な品目）	寄与度
野菜・海藻(ほうれんそう 等)	0.13	家庭用耐久財(ルームエアコン 等)	▲0.15
教養娯楽サービス(外国パック旅行 等)	0.08	教養娯楽用耐久財(テレビ 等)	▲0.07
果物	0.05	電気代(電気代)	▲0.03
洋服	0.04	穀類(食パン 等)	▲0.02
肉類(牛肉[国産品] 等)	0.04	調理食品(焼き魚 等)	▲0.02

4 前年同月との比較

～食料及び教養娯楽は上昇，光熱・水道は下落。～

(1) 10 大費目の前年同月比及び寄与度

	総 合	食 料	住 居	光熱・ 水 道	家 具・ 家事用品	被服及び 履 物	保健医療	交通・ 通 信	教 育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	0.9	4.2	▲ 0.6	▲ 5.6	▲ 1.4	5.2	0.6	▲ 1.4	1.3	2.6	0.7
寄与度	0.9	1.11	▲ 0.11	▲ 0.46	▲ 0.05	0.23	0.03	▲ 0.19	0.04	0.28	0.05

(2) 総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

上 昇		下 落	
中分類（主な品目）	寄与度	中分類（主な品目）	寄与度
野菜・海藻(ブロッコリー 等)	0.22	電気代(電気代)	▲0.22
教養娯楽用耐久財(テレビ 等)	0.19	自動車等関係費(ガソリン 等)	▲0.22
調理食品(すし(弁当) 等)	0.19	ガス代(都市ガス代 等)	▲0.20
菓子類(ケーキ 等)	0.18	家賃(持家の帰属家賃 等)	▲0.07
肉類(牛肉[国産品] 等)	0.15	家庭用耐久財(ルームエアコン 等)	▲0.05

図4 総合指数の前年同月比及び 10 大費目別寄与度の推移

